

長岡京市モデル事業報告について

中央共同募金会が募集した、「新たな募金手法（ファンドレイジング）の開発に向けた改革モデル事業」については、平成25年度に第2次募集が行われたため、長岡京市の取組について、京都府共同募金会が指定を受け、25年度、26年度の2年度間のモデル事業を実施したところである。

改革モデル事業では、地域課題・社会課題の解決のために、従来の10月～12月の運動期間に加え、1月～3月への運動期間拡大を活用して募金増を果たすとともに、団体、寄付者、企業、一般市民等と新たな協力関係を構築することを目的とし、テーマ募金「ひとり親家庭の児童に対する学習・福祉体験支援事業（竹の子育て）」と、共募（社協）自らが地域に出向き、地域での募金機会を増やす「出店事業」を柱とする募金活動を展開した。

長岡京市では、これまで市社協（共同募金会・支会）と地域の自治会とのつながりが希薄であったのが、自治会との関係を築いて地域課題を解決していこうという支会事務局の思いがモデル事業への架け橋となり、自治会のみならず、JCや他の団体の参加を得ることが出来た。

また、京都府共募として、長岡京市における事業、会議等に参画し、協働することにより、次の支会、団体へ繋げていくことを目指しているところである。

平成26年度の長岡京市での取組の主な内容は、次のとおりである。

1 モデル事業募金実績総額

(単位：円)

| 年度 \ 区分 | テーマ募金<br>(実行委員会) | 出店事業    | その他     | 合計        |
|---------|------------------|---------|---------|-----------|
| 26年度    | 418,904          | 517,938 | 288,358 | 1,225,200 |
| 25年度    | 400,415          | 445,581 | 314,167 | 1,160,163 |

2 テーマ募金

(1) テーマ

「ひとり親家庭の児童に対する学習・福祉体験支援事業（竹の子育て）」

<趣旨>

- ・ ひとり親家庭の経済状況は厳しく、就労している親は、子どもと向き合える時間が少ない。
- ・ また、教育にかかる費用に余裕がないことから、十分な教育の場が与えづらい

状況がある。

- ・ 貧困の連鎖を断ち切るためにも、「学習の場」と豊かな人間性を養うために「福祉教育の場」を構築する。

## (2) 募金目標・実績額

- ①平成 26 年度 目標額：350,000 円・実績額：418,904 円
- ②平成 25 年度 目標額：350,000 円・実績額：400,415 円

## (3) 広報活動

### ① チラシづくり（振込用紙付）

- ・「竹の子育て」・「ばんそう校」の要素を取り入れ、親しみやすいイラスト、ロゴ入りのチラシを実行委員会の意見で作成し、共感を広げるツールとする。
- ・25年度～26年度の取組の実績報告のチラシを作成し、募金依頼の際の説明資料として活用した。

### ② マスコミ報道

- ・ニュース性のある取組の都度、各メディアに対し資料提供、取材要請を行い、25年度・26年度は、京都新聞洛西版や全国のWEB配信等で報道がされた。
- ・直近では、平成27年4月27日（月）京都新聞朝刊・洛西版に「竹の子育て」の記事が掲載された。

### ③ 出店事業でのパネル展示

- ・募金活動とともに事業への参加者（対象者）の掘り起しにつなげる。

## (4) 募金活動

- ① 実行委員自らが、協力いただける関係者を設定、リストアップし、個別に訪問して、テーマ募金チラシでの趣旨説明を行い、事業への理解・共感を得る活動を行い、個人の賛同を得て募金につなげた。
- ② 職域（市役所・企業等）に対し、地元母子支援団体等と協働し、学習支援が必要な子ども達に対して、教育支援・福祉体験を受けられる仕組み作りを訴えかけ、職域募金につなげた。

## (5) 実行委員会の活動

募金活動及び事業の企画・実施を行うため、実行委員会を組織し、活動を進めている。長岡京市特産の竹を活用した活動と元教師による学習支援・学習相談を行う。

- ・実行委員会の名称は、「ひとり親家庭居場所実行委員会」（愛称：「竹の子育て」）
- ・メンバーは、母子支援団体代表を委員長、元民生児童委員を副委員長に、母子支援団体関係者、元教師、環境団体（竹関係のプログラムの作成担当）、ボランティア関係者、行政職員の11名で組織
- ・社協は事務局としての役割を受け持つ。

- ・周知啓発・募金活動を行う際は、実行委員会の名刺を作り活動する。
- ・開催経過

#### 実行委員会の開催

- ・平成25年度は、11月21日に初会合。年度内3回開催
- ・平成26年度は、10回の実行委員会を開催
- ・サポーター制度
  - 募金の呼び掛けと合わせて、実行委員会への支援を行っていただくサポーター制度への参加を呼び掛けている。

### (6) 事業内容

実行委員会を主体に次の様な活動を行う。

#### ① 「竹の子育て」

竹の生育を学ぶ（育てる、掘る、食べる、つくる、広げる）体験を通じて、人間形成を図る。春・夏・秋・冬の各時期に開催する。

＊ 春：平成26年4月20日(土)開催(掘る・食べる)

・長岡京市内のから子が岳（からねがたけ）の竹林で実施

・内容：筍掘り取り、竹筒ご飯作り、焼き筍、豚汁等

＊ 夏：平成26年6月22日(日)に昼間ミニキャンプを実施

＊ 秋：平成26年10月26日(日)に竹の子育て体験活動

＊ 冬：平成27年1月25日(日)に竹工作体験活動を実施

#### ② 「ばんそう校」 … 元教師を中心に定期的な学習支援・学習相談を行う。

・平成26年4月26日(土)(第1回)から、原則、毎月第2週、第4週の土曜日に開催

・初年度は、小学生を対象に活動を行った。

## 3 出店事業

### (1) 活動趣旨

共同募金の使途や社協の活動を住民に周知するため、自治会等主催の地域の祭りに「綿菓子」「ポップコーン」「ホットドッグ」等の出店を行い、売上の一部を募金とする活動を行った。

また、自治会等への綿菓子器等の機器の貸出しを行い、住民相互で行われる活動に社協や共募が活用できることをPRし、「何かあれば、社協に相談しよう」というような関係構築に結びつけていった。

### (2) 実績・計画

平成26年度の出店実績は、次のとおりである。

- ・6月28日・29日 あじさいまつり（柳谷観音楊谷寺）

- ・ 7月25日 サマーナイトカフェ（長岡京駅前バンビオ広場）
- ・ 7月27日 久貝自治会運動会（長岡京市立 長岡第八小学校）
- ・ 8月2日 鴻臚祭り（柴の里公園）
- ・ 8月23日 滝ノ町地藏盆（滝ノ町自治会館前公園）
- ・ 9月7日 久貝運動会（長岡京市立 長岡第八小学校）
- ・ 9月14日 乙訓ドリームフェスタ（長岡天満宮）
- ・ 10月11日 長岡京竹あそび（長岡天満宮ひろば）
- ・ 11月1日 サポセンフェスティバル（バンビオ広場）
- ・ 11月2日 滝ノ町まつり（滝ノ町自治会館前公園）
- ・ 11月9日 ガラシャ祭（ニチュ広場、きりしま苑）
- ・ 2月22日 長岡第十小まつり（長岡京市立 長岡第十小学校）
- ・ 3月 8日 長岡第八小友好祭（長岡京市立 長岡第八小学校）

#### 4 まとめ

##### (1) 成果

- ① 実行委員を初めとする関係者の努力により、多くの共感を得て、35万円の目標を大きく超える募金を集めることが出来た。
- ② 初めての試みとして、社協、地元母子支援団体等とのこれまでにない新しい関係づくりによる「テーマ型募金」として募金活動、事業展開を行っている。
- ③ 出店事業等を通じた、自治会、地域団体、行政等との協議、連携により、「ひとり親家庭の貧困の連鎖を断ち切るための支援」という、地域課題に基づくテーマの明確化を図った。
- ④ テーマに基づいて、長岡京市の各分野の方が参加する実行委員会を組織し、実行委員会を中心に、募金活動及び事業の企画・実施を行った。
- ⑤ モデル事業をきっかけとして、乙訓J.C、長岡京市地産地消推進協議会、立命館中学高校等との新たなパートナーシップにより、新しい関係を構築することができた。
- ⑥ 中央共同募金会の支援のもと、京都府共募と長岡京市共募が協働して取組を進め、また、長岡京市社協における共同募金担当以外の職員との意識の共有を図るなど、広く連携に努めている。
- ⑦ 京都府内における理解を広めるため、長岡京市の取組について、理事会、評議員会、各委員会に報告している。

##### (2) 今後の活動課題

今後とも、「継続」と「広がり」をキーワードに、長期的視野を踏まえた活動を構築する。

##### a 長岡京市における取組

- ① 寄付者・サポーターのリスト化と協力を得るための面談等の活動

- ② 実行委員会メンバー等のさらなる意識の向上
- ③ 事業内容の確立、チラシの作成配布、募金依頼等、実際の活動の推進
- ④ 参加児童・生徒の募集と共感を得る活動

b 京都府共募の取組

- ⑤ 府共募・理事会及び評議員会に対して、実施状況の報告を行うとともに、府内他の支会に対して、長岡京市の経験を発信し、今後の広がりを図る。



竹の子育て  
～ひとり親家庭居場所実行委員会～



子どもたちの今、未来を

「なんとかしたい！」のきもちをむねに・・・





**活**

☆体験活動☆



活動の拠点は光明寺の近くの「から子が岳」。ボランティア団体おとくに竹あそび・竹遊会の協力で、2014年の春は竹の子掘り取り、夏はミニキャンプ、秋は竹林散策、冬は竹工作の体験活動を行いました。子どもたちは日常体験できないことを実行委員とボランティアのサポートで元気いっぱい取り組みました。



☆ばんそう校☆



**ば**

んそう校は毎月第2・4土曜日に、長岡京市立地域福祉センターきりしま苑で開いています。子どもの居場所として、又親の悩みや子育てを一人で悩まず相談できる場所として開設しています。子どもたちは普段の学習の他、ブロックやカップ、カルタ等でいきいきとした時間を過ごしています。



☆体験活動☆

春 竹の子掘り取り  
竹の子料理をつくろう

秋 竹林整備  
竹の名づけおやになる

冬 竹工作（おもちゃ作り）



☆ばんそう校☆

毎月第2・4土曜日

地域福祉センターきりしま苑 2階

持参の学習教材をつかって  
学習するほか、遊びの中での学び、  
絵本の読み聞かせ等、楽しい時間を  
いっしょに過ごします。  
本の貸出しもする予定です。



よりみなさまへ

楽しいこと、いっぱい！！

ご存知ですか？なんと、竹はひとり親なんです。この由来から、ひとり親の子どもへの取り組みを『竹の子育て』と名づけました。

『ばんそう校』には「伴走」「伴奏」という意味があり、さらに、子どもたちのこころの「絆創膏」になればとの願いが込められています。

わたしたちは、『いつもきていい場所』、『居場所』をつくっていききたいと思っています。

● 竹の子育てはこんな方を募っています ●

応援したい

→寄付で支援

①振込み②持参 詳しくは  
右記問い合わせ先へ



参加したい

→体験活動や学習支援で子  
どもたちと一緒に過ごして  
くれる方



は赤い羽根共同募金の助成事業です。

発行元・問い合わせ先

長岡京市ひとり親家庭居場所実行委員会

事務局 長岡京市共同募金会

(長岡京市社会福祉協議会内)

TEL (075) 963-5508

HP 長岡京市社会福祉協議会 → 長岡京市共同募金会 →  
ひとり親家庭居場所実行委員会の活動

